

奈良県の地震

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

【奈良県地震概況】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

【地震一口メモ】

地震から身を守るために

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

奈良地方気象台
2021年2月

か、近畿・四国地方で震度3～1を観測しました。

18日03時58分 愛知県西部の地震（M4.2、深さ39km）により、奈良県内では山添村で震度1を観測しました。

28日11時20分 大阪府北部の地震（M3.7、深さ10km）により、奈良県内では香芝市・宇陀市・高取町で震度1を観測しました。

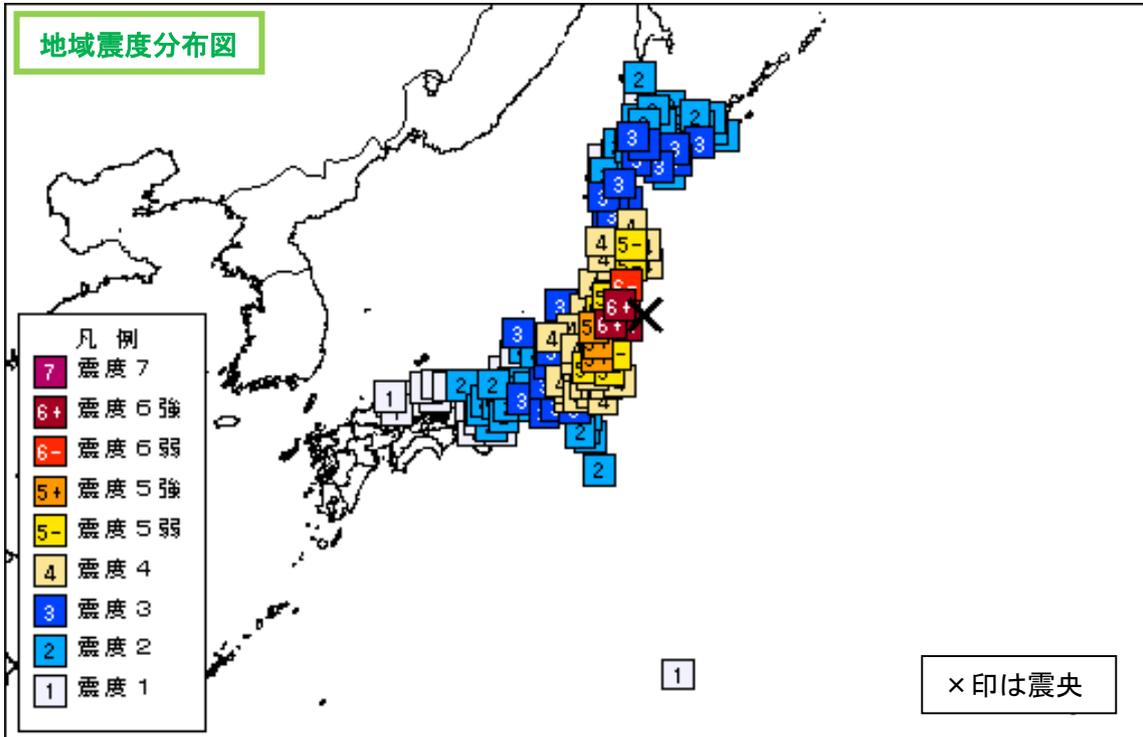
【奈良県で震度1以上を観測した地震の一覧】

| 震源時(年月日時分) | 震央地名 | 北緯 | 東経 | 深さ(km) | M |
|---|--------|-------------|--------------|--------|------|
| 各地の震度（奈良県内のみ記載） | | | | | |
| 2021年02月13日23時07分 | 福島県沖 | 37° 43.7' N | 141° 41.9' E | 55km | M7.3 |
| 震度 2：奈良市二条大路南*、大和郡山市北郡山町*、三宅町伴堂*、田原本町役場* | | | | | |
| 震度 1：奈良市西紀寺町、大和高田市大中*、天理市川原城町*、桜井市粟殿*、香芝市本町*、安堵町東安堵*、奈良川西町結崎*、広陵町南郷*、河合町池部* | | | | | |
| 2021年02月15日13時28分 | 和歌山県北部 | 34° 13.0' N | 135° 12.5' E | 4km | M4.0 |
| 震度 1：五條市本町*、三郷町勢野西*、安堵町東安堵*、高取町観覚寺* | | | | | |
| 2021年02月18日03時58分 | 愛知県西部 | 35° 03.9' N | 137° 17.7' E | 39km | M4.2 |
| 震度 1：山添村大西* | | | | | |
| 2021年02月28日11時20分 | 大阪府北部 | 34° 58.5' N | 135° 24.4' E | 10km | M3.7 |
| 震度 1：香芝市本町*、高取町観覚寺*、宇陀市大宇陀迫間* | | | | | |

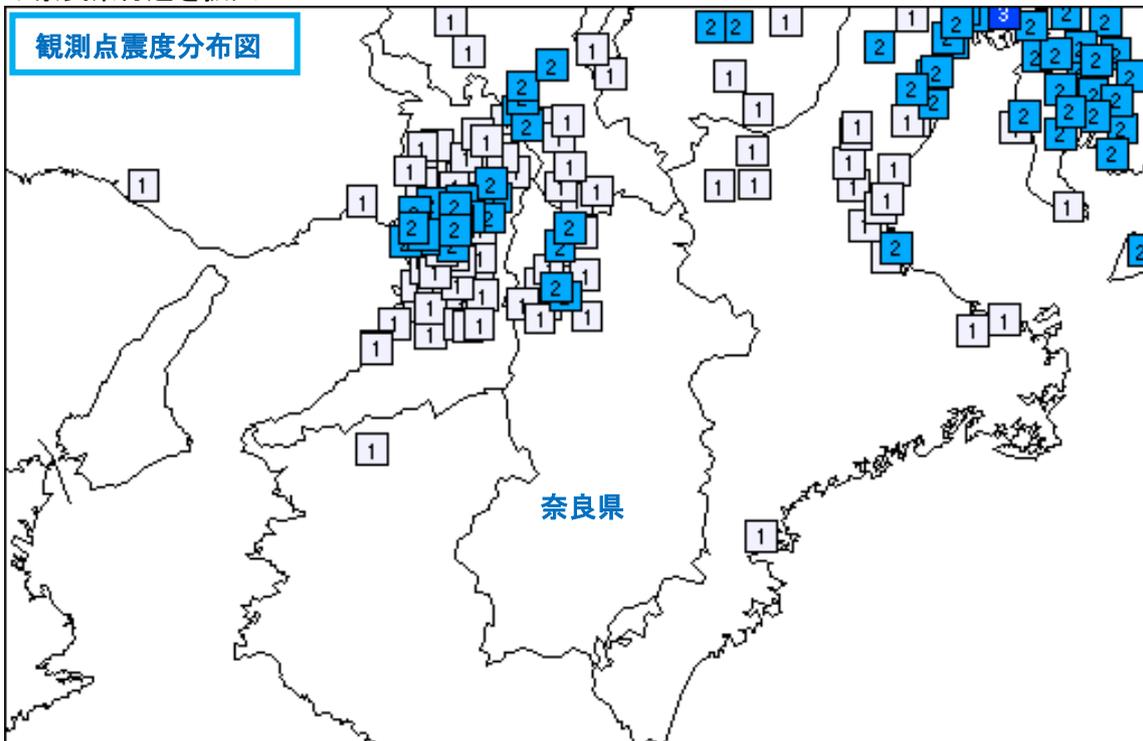
※印は地方公共団体等の震度観測点です。

【奈良県で震度1以上を観測した地震の震度分布図】

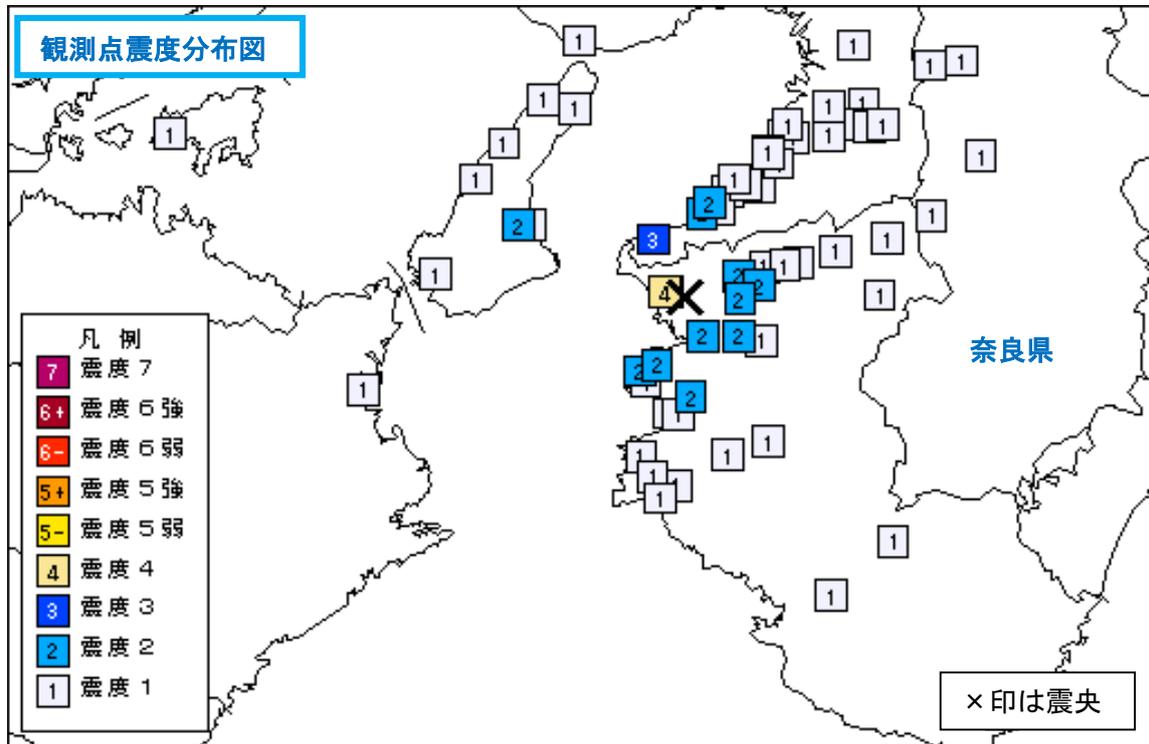
2021年02月13日23時07分 福島県沖 37° 43.7' N 141° 41.9' E 55km M7.3



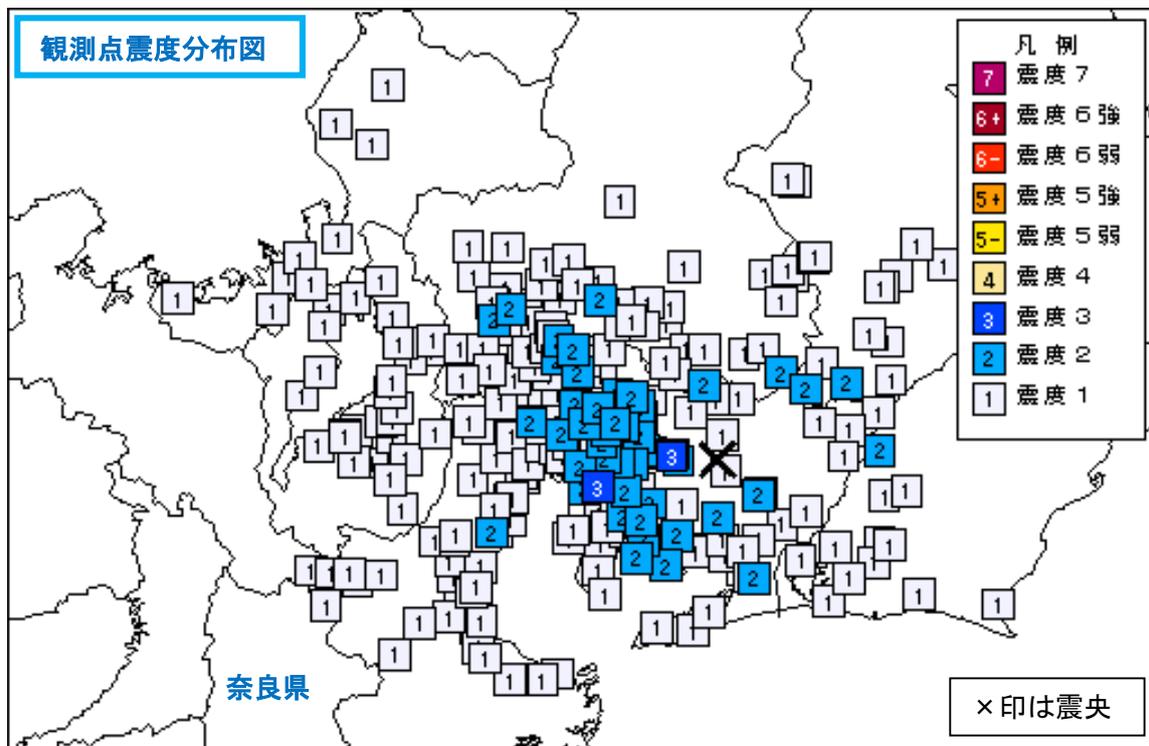
↓奈良県付近を拡大

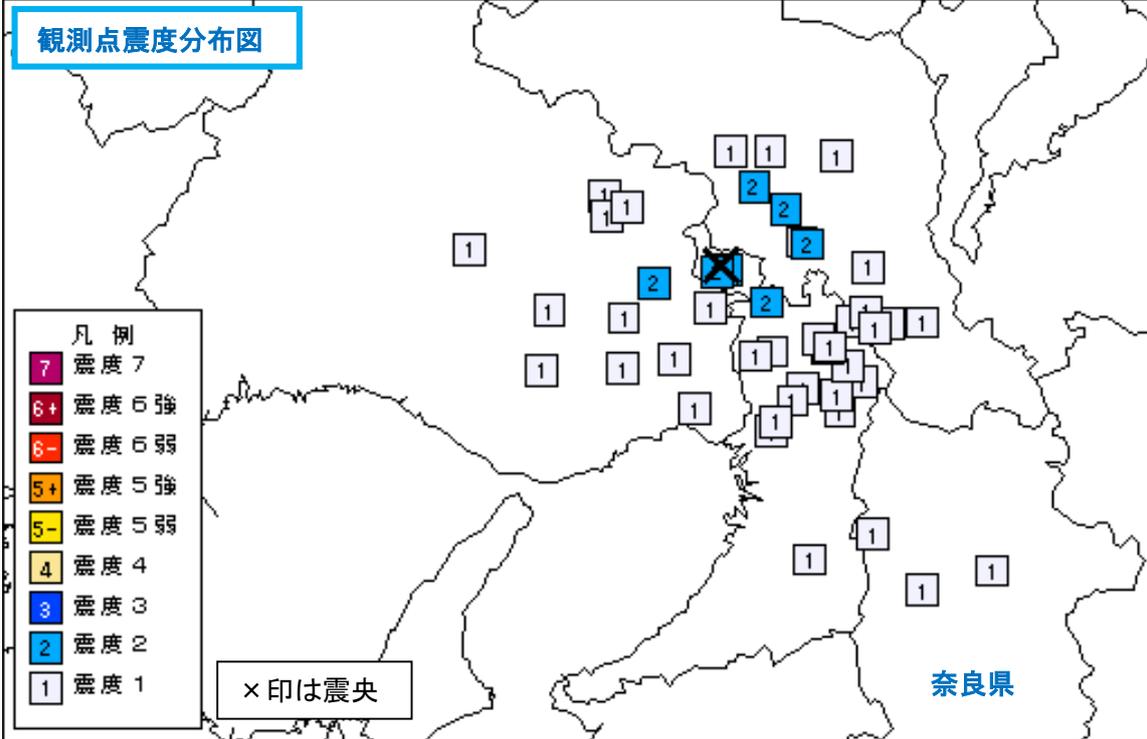


2021年02月15日13時28分 和歌山県北部 34° 13.0' N 135° 12.5' E 4km M4.0



2021年02月18日03時58分 愛知県西部 35° 03.9' N 137° 17.7' E 39km M4.2





【地震一口メモ】

～地震から身を守るために～

日本は、世界有数の地震大国で、これまで多くの地震や津波による災害を経験してきました。例えば、平成 28 年の熊本地震において、最大震度 7 の地震が 2 度発生したほか、一連の活発な地震活動によって、甚大な被害を受けました。大きな被害をもたらす地震は特定の地域に限って発生しているわけではなく、全国各地で発生しています。大きな地震によって強い揺れとなった地域では、その後も続く地震活動で家屋などが倒壊したり、落石やがけ崩れなどの土砂災害が発生しやすくなったりします。

気象庁は、このような地震災害を防止・軽減するために緊急地震速報、地震情報、長周期地震動に関する観測情報、南海トラフ地震関連情報等の発表や気象警報等の暫定基準での運用を行うなど、注意や警戒を呼びかけています。突然襲ってくる地震から身を守るためには、これらの情報を理解し、迅速な避難（安全確保）及び日頃からの備えを行うことが重要です。



2016 年熊本地震の被害

（災害時地震報告 平成 28 年（2016 年） 熊本地震 より）

地震から身を守る行動の具体例

地震の揺れは突然襲ってきます。いつ揺れに見舞われても身を守ることができるように、屋内・屋外問わず周囲の状況や避難経路を確認し、揺れに備えましょう。

日頃からの備えの例

✓ 備蓄・非常持ち出し品の準備
非常時の水・食料の備蓄や、非常用持ち出し品を準備しておきましょう。

✓ 安全スペースの確保
室内になるべくものを置かない「安全スペース」(ものが落ちてこない・倒れてこない・移動しない空間)を作っておきましょう。

室内の備えのイメージ
(資料：東京消防庁)

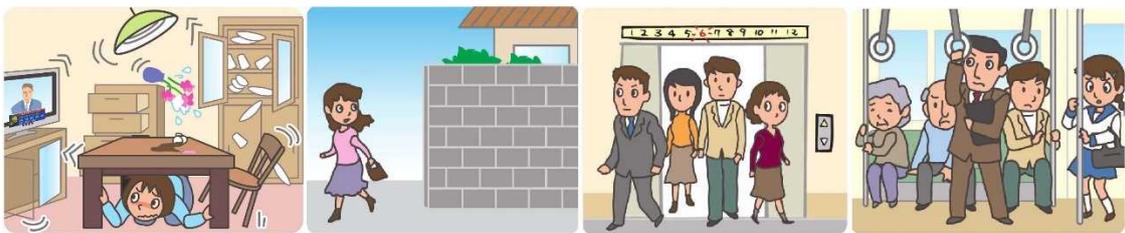
✓ 家具の固定
家具を固定しましょう。また、万が一倒れてきた場合でも、通路をふさがらないような配置を考えましょう。

✓ 周囲の状況の確認
普段通る道に危険な場所やものがないか確認しておきましょう。また、地盤の弱い場所や地震によって地盤の緩んだ場所では、降雨などにより土砂災害が発生することがあります。前もって周囲の状況を確認しておきましょう。

✓ 連絡手段の確認
地震が発生したときの連絡手段や集合場所について、あらかじめ家庭で話し合っておきましょう。

✓ 訓練に参加しよう
本当に地震が起こったときに、あわてずに身の安全を図ることができますか？積極的に訓練に参加しましょう。

安全を確保するための行動例



- ・家庭では、安全スペースに避難。頭部を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難。あわてて外へとびださない。無理に火を消そうとしない。
- ・屋外(街)では、ブロック塀などの倒壊に注意。看板や割れたガラスの落下に注意。
- ・エレベーターでは、最寄の階に停止させ、すぐに降りる。
- ・鉄道・バスでは、つり革・手すりにしっかりつかまる。

本紙は奈良地方気象台のホームページでも過去5年間程度分掲載しています。
URL : <https://www.data.jma.go.jp/nara/jisin/jisin.htm>

